

事業適応計画のポイント 日本特殊陶業株式会社

2023年1月23日

- 日本特殊陶業株式会社は2030長期経営計画における優先課題の一つに気候変動への対応を盛り込み、事業の発展と環境負荷低減の両立を図ります。
- 本計画においては、愛知県小牧市の工場に太陽光発電システムと蓄電池を導入することにより、炭素生産性の向上を図ります。

<事業適応計画の概要>

1.事業適応計画の実施期間

2023年3月～2024年3月

2.生産性向上目標

小牧工場の炭素生産性を22.4%向上することを目標とします。

3.前向きな取り組みの内容

太陽光発電システムと蓄電池を導入し、制御システムを組み合わせ、最適制御を行うことにより、炭素生産性の向上を図ります。

4.支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容のイメージ>

